

タカ守りの家

～家族を守る、その先へ。地域の安全を育てる住まい～

タカ守りの家とは



設計 × 設備の両面から徹底的に防犯性を強化

- 侵入されにくい構造の採用
- 家族が安心して暮らせる多層的なセキュリティ
- 地域とつながる「防犯ネットワーク性」
- 災害・非常時にも強い住宅性能
- 長期的に安心が続く「維持管理のしやすさ」
- 家族の暮らしやすさと両立する防犯設計
- プライバシー性の向上（隠れた防犯効果）

防犯カメラの設置

防犯カメラは犯罪者の心理的な抑制
証拠の確保、そして緊急時の迅速な対応を可能にし
地域社会の安全性を高める重要な存在です。

(機材と施工費で約8万円～)



防犯ガラス

高い耐貫通性能を持ちガラスの飛散防止効果もあり
泥棒などの犯罪に対して侵入を困難に
するため、高い防犯効果があります
(9万円～)



防犯砂利の施工

踏むことで音が鳴り侵入者の察知、侵入者対策という効果があります

(10万円～)

※砂利量による



2階リビング

1階からの侵入経路をなくすために

2階にリビングを作り、1階に掃き出し窓

を設けないことで、一番多い侵入経路

をなくし侵入者を防ぐ

(2階リビング変更20万円～)

